

動物を通して「鹿児島らしさ」を伝える

Spread of the "Kagoshima" through animals

1落合祐子・1落合晋作・1,2浅井隆之・1桜井普子・1福守朗
(1鹿児島市平川動物公園, 2(合)南九州野生動物保護管理センター)



はじめに

平川動物公園のテーマの一つに「南国鹿児島らしい特色ある動物公園」がある。
動物園で伝える、鹿児島の特徴とは？
◎南北600kmにわたり温帯から亜熱帯気候に属する。生物が多種多様。
<これまでの取り組みとして...>



愛鳥週間イベント「ルリカケスを守ろう！」



大人向け講座「世界と出水のツルの話」



パネルでアマミノクロウサギを解説



奄美大島での傷病鳥獣救護について

その他、ネコの日イベント「かわいい？じゃまもの？ノネコとノラネコの話」、期間限定イベント「トカラウマに乗ってハイポーズ」など、各種イベント内キーパーズトークやワークショップで特色ある動物や、その動物に対する取り組みについて紹介してきた。

鹿児島の特徴、動物の他にもたくさんあるのでは！

◎文化的観光資源が豊富！
明治日本の産業革命遺産(世界文化遺産)、薩摩英国留学生、幕末維新期の薩摩藩士
◎特産に注目！
焼酎、鯉節、お茶、鹿児島黒(黒豚・黒牛・黒さつま鶏、黒酢、黒糖など)、大島紬、種子島宇宙センター など

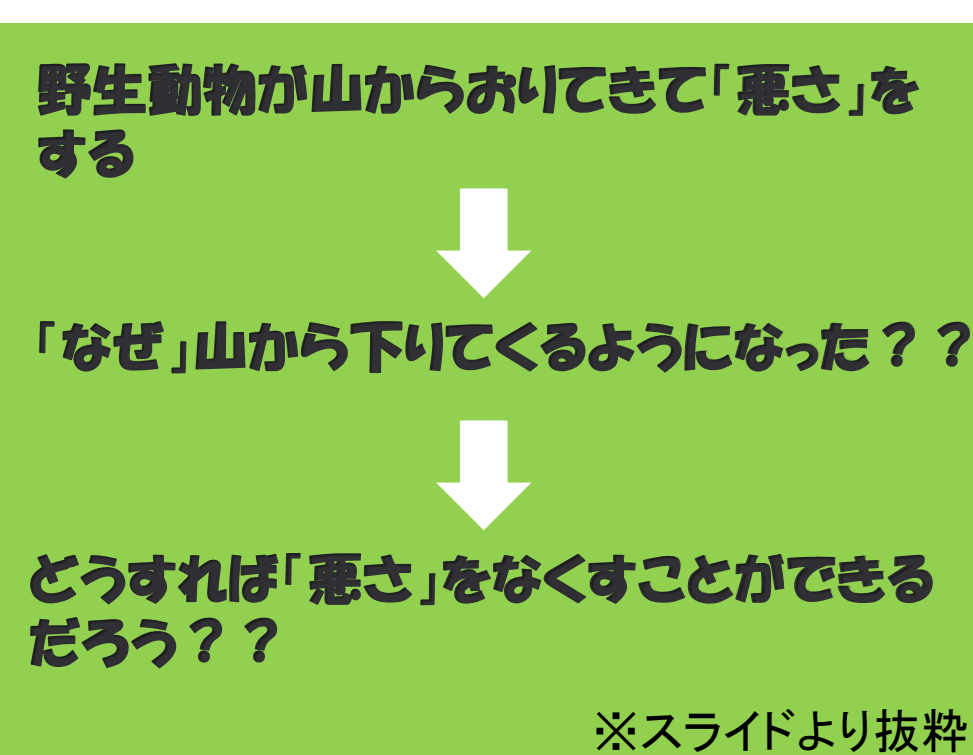
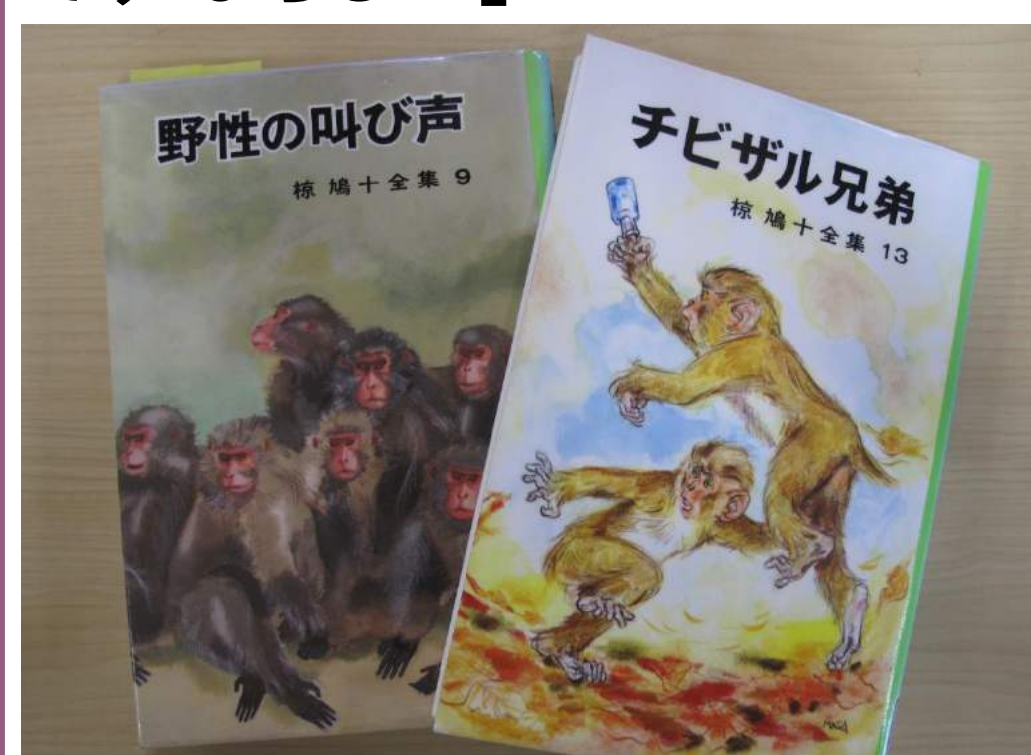
鹿児島の特徴ある資源と、動物を関連付けた3つのイベントを実施

イベントの内容

- <目的>
- ・鹿児島の特徴を伝え、より興味をもってもらう
- ・様々な分野における動物の立場や、人との関わりを知ってもらう

夏休み生き物学習 ※夏休みの宿題の参考となる題材を提供するイベント 椋鳩十を読む～野生動物と私たちの関係を考えよう！～

動物文学のジャンルを確立。50年以上鹿児島で暮らし、自然について著した。
【実施日】8月4日(土)13時半～14時20分
【参加者】当日参加の22名(小学生～一般。集客に苦戦。)
【内容】椋鳩十と、その作品の紹介、野生動物の暮らしについて動画を用いた講話。椋鳩十の作品を読んだ感想文に、講話を聞いて感じたことを取り入れるように提案。
【資料】ワークシート、椋鳩十年表、椋鳩十作品(一覧と書籍)、椋鳩十文学記念館賞全国読書感想文コンクール入賞作品集、始良市道徳副読本「生きるってすばらしい」



◎野性の叫び声
◎南島のシシ白耳を具体的に紹介

野生動物と人との軋轢を考えよう！

【参加者より】動物園の獣医師の話ということで聞いたが、予想と違った椋鳩十と動物の関わりに興味があったので参加したが、つながりがわかりづらかった「読書感想文の参考にしたい」という参加者はいなかった

- 【取材】なし
- ・イベントの趣旨と動物(特に動物園動物)とのつながりが弱かった
- ・「読書感想文」の宿題提案としての時期について、検討が必要

夏休み生き物学習

鹿児島島の竹林面積は日本一！～竹について調べよう！

【実施日】8月25日(土)13時半～15時
【参加者】当日参加の35名(小学生～一般)
【内容】竹についての講話(植物学、産業、動物園での利用)、竹笛工作
【資料】レジュメ、ワークシート、竹材・筍・地下茎の標本、園内に自生する竹



◎ニガダケ、メダケ、モウソウチク、ホテイチク、リュウキュウチク
◎オリジナルの竹笛(ウグイスの鳴き声)

【参加者より】工作の宿題として提出したい
実際に動物が竹を食べる様子を観察したかった
【取材】テレビ1件、新聞1件→鹿児島県の竹と動物園の関係や工作について
・実物資料をみながら進めた点、オリジナルの工作を完成させた達成感が、満足度↑に
・「日本一」というフレーズと、工作に取り組む子どもたちの様子が取材につながった

くらしの中に、竹を取り入れてみよう！

明治維新150周年企画

・西郷どんが出会った！？動物たち 企画展 ・ワンワンワン！の日 特別講演会

【実施日】企画展:5月3日(木)～開催中(12月26日(水)までの予定)
講演会:11月11日(日)13時半～(ワンワンワン！の日イベントとして実施)
【参加者】講演会:当日参加の27名(小学生～一般。事前募集としたが定員に達せず。)
【内容】企画展:西郷隆盛が過ごした土地の特徴的な動物を、足跡を辿りながら紹介する展示(年表、地図とリンクさせたパネル、生体)
講演会:「西郷隆盛と過ごした動物たち」「獣医師が診た、平川動物公園のオオカミたち」歴史と動物それぞれに興味のある方が、楽しむことができる内容に。



◎ニホンイモリ、ニホンウナギ、カワムツ、モクズガニの展示
◎薩摩犬の紹介
◎西郷隆盛とツンの裏話
◎オオカミや、これまで飼育したイヌ科動物の紹介
動物の様々な活躍の場を知ろう！

【参加者より】獣医師の話を知ることができてよかった
西郷隆盛との裏話として、もう少しイヌの話を知りたい(詳しい人にとっては物足りない)
西郷隆盛についての内容はだいたい知っていた(詳しい人にとっては物足りない)
【取次】なし
・企画展:生体展示がアイキャッチ的な役割をし、展示室内に誘導できた
・講演会:興味と異なる分野を楽しんでもらうには、講話だけでは不足

今後の検討課題

- ①タイトル名
わかりやすい、タイムリーなフレーズや語呂合わせを交えたタイトルにすることで、集客・取材につなげる。「日本一」「西郷どん」「ワンワンワン！」など。
- ②内容と時間配分
座学と工作や動物観察をセットにし、参加者増、参加者の満足感を上げる。異なる分野の内容をセットにする場合は、動物のウェイトを多くしたほうがよいか。
- ③他施設・外部講師との連携
当園からも出向いて講話をする機会を提案。

以上を踏まえ、動物(特に動物園動物)とつながりが強いものから実施し、検討・改善していきたい。

平和学習や馬毛島のマゲシカとFCLP、来訪神など様々な「鹿児島」を伝える取り組みを続ける

謝辞

西郷南洲顕彰館の徳永和喜館長、鹿児島県竹産業振興会連合会技術顧問・濱田甫氏、鹿児島市竹産業振興組合の皆様、椋鳩十文学記念館の皆様、及び始良市教育委員会学校教育課・益満陽平氏にご協力いただきました。厚く感謝申し上げます。